

メーデー   中・四国地方支部

4 月 26 日、広島市南区宇品海岸の広島みなと公園で、第 96 回広島県中央メーデーが開催され、本組合を含む連合広島構成組織の組合員、約 7200 人が参加した。

はじめに、主催者を代表し、大野真人連合広島会長から「メーデーの趣旨を皆さまと共に再確認し、労働者・生活者の将来にわたる安心安定を目指し、私たちの手で変えていくという思いを皆さまと共有したい」とあいさつした。

続いて、本組合政治参与の中原好治広島県議会議員と森本真治参議院議員が、働く人たちへ激励と連帯のメッセージを述べた。

最後に「賃上げの裾野を広げ、労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させる取り組みを進める」としたメーデー宣言と「戦後・被爆から 80 年が経ち、平和の誓いを次世代につなげ、戦争や核兵器のない世界を実現する」ための特別決議が満場一致で採択され、ガンバロー三唱で式典は終了した。

「海員だより」